

日清オイリオグループ CSR データ集

2018

目次

- 1 会社概要
- 1 マネジメント
- 2 お客様
- 4 株主・投資家
- 5 従業員
- 6 社会
- 7 環境
- 11 表彰一覧
- 13 WEB掲載情報一覧



会社概要

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
連結売上高		百万円	327,836	324,909	337,998	
連結経常利益		百万円	7,732	10,334	9,276	
事業別売上高 構成比	油脂・油糧事業 および加工食品事業	%	—	66.7	65.9	2017年度からセグメントを 変更したため、2016年度につ いては遡及修正した数値を掲載
	加工油脂事業		—	27.0	27.6	
	ファインケミカル事業		—	5.2	5.3	
	その他		—	1.1	1.2	
グループ売上高 構成比	日清オイリオグループ(株)	%	51.0	49.0	48.9	
	国内子会社		29.1	29.8	29.1	
	海外子会社		19.9	21.2	22.0	

マネジメント

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考	
コンプライアンスチャレンジ ^{※1} 参加率		%	99	99	99	当社および国内グループ会社 の合計参加率	
労働災害発生件数	(合計)	件	1	0	0	従業員ベース、 休業災害4日以上	
	横浜磯子事業場		1	0	0	2015年度は軽度疾病による	
	名古屋工場		0	0	0		
	堺工場		0	0	0		
	水島工場		0	0	0		
連続無災害 記録	無災害日数	日	横浜磯子事業場	57	159	355	
			名古屋工場	2,044	2,409	72	
			堺工場	5,604	5,843	6,084	
			水島工場	1,620	1,985	2,350	
	無災害時間	千時間	横浜磯子事業場	123	330	890	
			名古屋工場	1,069	1,314	50	
			堺工場	3,440	3,700	3,962	
			水島工場	974	1,175	1,364	
防災訓練参加(のべ)人数	本社	名	152	133	189		
	横浜磯子事業場		1,000	1,600	1,500	2017年1月以降、中央研究所 の人数を含む	
	名古屋工場		628	731	540		
	堺工場		479	530	432		
	水島工場		569	600	500		
安全義務教育参加人数 ^{※2}		名	119	119	133		

※1 社内イントラネット等を使用し、コンプライアンス事例に関するクイズ形式の問題に答える取り組み

※2 新入社員教育I・II、若手社員教育、中堅社員教育I・II、ベテラン社員教育の合計参加人数

「堺事業場」は2018年4月1日に「堺工場」と名称を変更しました。
本データ集においては変更後の名称にて記載しています。

マネジメント (つづき)

2017年度の主な防災訓練実施状況

拠点	訓練内容
本社	総合防災訓練(地震、火災、避難、緊急通報ほか)
横浜磯子事業場	総合防災訓練(地震、注意情報、警告宣言、津波、火災、流出油防除、避難、緊急通報ほか)
名古屋工場	総合防災訓練(地震、津波、火災、流出油防除、避難、緊急通報ほか)
堺工場	総合防災訓練(地震、津波、火災、流出油防除、避難、緊急通報ほか)
水島工場	総合防災訓練(地震、津波、火災、流出油防除、避難、緊急通報ほか)

お客様

		単位	2015年度	2016年度	2017年度	備考
品質マネジメント委員会の開催状況		回	1	1	2	2015年度については2016年度初めに開催
ISO9001品質監査 内部監査員人数		名	526	526	82	2017年度はISO9001:2015年版への移行に合わせ、内部監査員の人数見直しを実施
認証等取得状況 (取得社数) ^{※1} 認証等取得状況の詳細は、P.13WEB掲載情報一覧「品質・食品安全マネジメントシステム認証等取得」をご覧ください	ISO9001 ^{※2}	社	9	9	9	
	HACCP ^{※3}		2	2	2	
	AIB ^{※4}		2	2	3	
	ISO22000 ^{※5}		3	3	3	
	FSSC22000 ^{※6}		4	4	6	FSSC22000相当を含む
	GMP ^{※7}		3	3	2	
	Halal (ハラール) ^{※8}		2	2	2	
Kosher (コーシャ) ^{※9}	2	2	2			
品質監査状況	内部品質監査	件	改善指摘	1	8	2
			改善提案	39	41	25
	定期審査 (外部)		改善指摘	3	0	1
			改善提案	27	26	26

※1 対象:日清オイリオグループ(株)および子会社

※2 品質マネジメントシステムに関する国際規格

※3 食品の衛生管理システムの国際標準

※4 AIB(米国製パン研究所)の確立した「AIBフードセーフティ(GMP)指導・監査システム」

※5 食品安全マネジメントシステムに関する国際規格

※6 GFSI(世界食品安全イニシアチブ)が承認した食品安全規格

※7 食品安全プログラムを遂行する適正製造規範

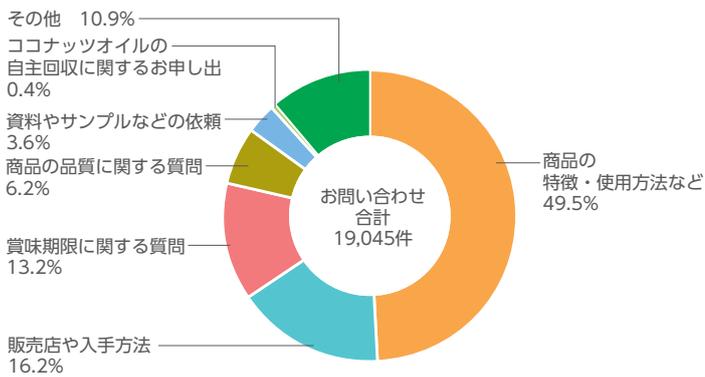
※8 イスラム法に従った(食べてもよい)食品の基準を定めこれを管理する制度

※9 ユダヤ教に従った(食べてもよい)食品の基準を定めこれを管理する制度

お客様 (つづき)

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
お客様相談窓口へのお申し出件数	(合計)	件	47,283	26,497	20,166	
	お問い合わせ		45,938	25,327	19,045	ココナッツオイル自主回収(2015年度実施)専用ダイヤルへのお申し出件数を含む
	ご指摘		695	592	536	
	ご意見・ご要望		650	578	585	
お問い合わせ内容内訳	(合計)	件	45,938	25,327	19,045	
	商品の特徴・使用方法など		13,282	9,354	9,413	2015年度は日清アマニ油など、サブリのなオイルに関する使用方法や保管方法といったお問い合わせが増えたため増加
	販売店や入手方法		4,192	3,264	3,084	
	賞味期限に関する質問		2,984	2,653	2,512	
	商品の品質に関する質問		1,806	1,553	1,190	
	資料やサンプルなどの依頼		765	694	680	
	ココナッツオイルの自主回収に関するお申し出		21,374	6,062	81	お客様相談窓口へのお申し出件数とココナッツオイル回収専用ダイヤルへのお申し出件数の合計
	その他		1,535	1,747	2,085	

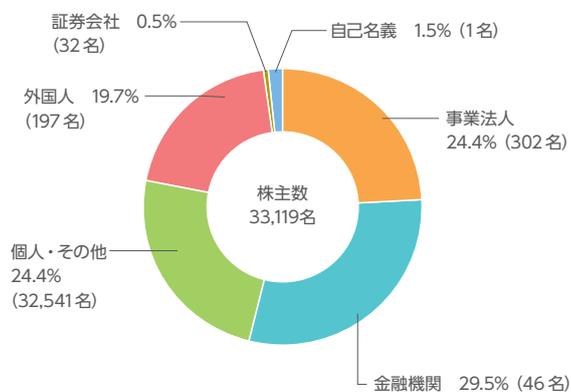
2017年度のお問い合わせ内容内訳



株主・投資家

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
株主数		名	31,423	28,734	33,119	各年度3月31日時点
発行済株式の総数		株	173,339,287	173,339,287	34,667,857	各年度3月31日時点 2017年度は普通株式5株を1株とする株式併合を実施
株式分布状況	事業法人	%	23.4	23.0	24.4	各年度3月31日時点
	金融機関		29.8	30.7	29.5	
	個人・その他		25.4	22.8	24.4	
	外国人		16.8	18.8	19.7	
	証券会社		0.5	0.6	0.5	
	自己名義		4.1	4.1	1.5	
配当実績	(年間計)	円	50.0	50.0	60.0	2015年度から2017年度中間配当までの配当金は株式併合後に換算して記載
	中間配当		25.0	25.0	30.0	
	期末配当		25.0	25.0	30.0	
個人投資家向け会社説明会開催回数		回	12	13	14	
個人投資家向け会社説明会参加人数		名	631	894	906	

株式分布状況 (2018年3月31日現在)

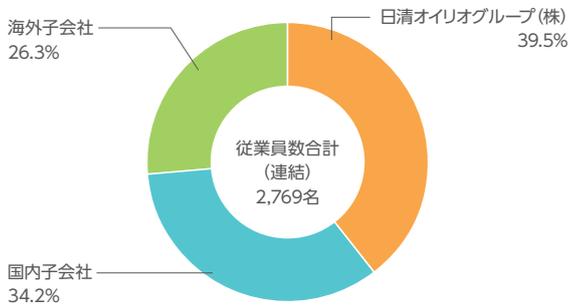


従業員

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
グループ従業員	(連結合計)	名	2,692	2,731	2,769	各年度3月31日時点
	日清オイリオグループ(株)		1,099	1,093	1,095	
	国内子会社		931	936	947	
	海外子会社		662	702	727	
従業員に占める女性割合		%	19.3	19.4	19.3	対象：単体正社員 各年度3月31日時点
平均勤続年数	(合計)	年	18.8	18.9	19.2	対象：単体正社員 各年度3月31日時点
	男性		19.1	19.1	19.5	
	女性		17.3	17.8	18.2	
総労働時間		時間	2,010.8	2,013.4	1,990.6	対象：単体正社員
年次有給休暇取得率		%	58.9	65.1	63.9	対象：単体正社員
係長級に占める女性の割合		%	10.5	10.8	10.9	対象：単体正社員 各年度3月31日時点
管理職に占める女性の割合		%	2.1	2.2	2.6	対象：単体正社員 各年度3月31日時点
永年勤続表彰制度利用者数		名	63	107	116	
育児休職制度利用者数		名	24	28	29	
介護休職制度利用者数		名	2	0	1	
短時間勤務制度利用者数		名	35	32	39	
障がい者雇用率		%	2.72	2.36	2.28	
定年退職者再雇用制度利用者数		名	9	18	14	当該年度に定年を迎えた者のみをカウント
ウォーキング ^{※1} 参加実績	参加者	名	334	407	414	
	達成者		257	316	384	
健康増進セミナー開催回数		回	8	5	6	

※1 生活習慣病予防を目的とした日清オイリオグループ健康保険組合主催の活動

グループ従業員比 (2018年3月31日現在)



社会

	単位	2015年度	2016年度	2017年度	備考
横浜磯子事業場 工場見学者数	(合計)	11,306	12,018	10,534	
	一般消費者	5,865	6,378	5,062	
	学生	3,756	4,056	3,652	
	PTA	656	669	632	
	取引先	748	798	916	
	海外	281	117	272	
WFPウォーク・ザ・ワールド参加人数 ^{※1}	名	132	147	126	
チャリティランチ喫食数 ^{※2}	食	317	395	541	
地域での清掃活動等の参加人数 ^{※3}	名	736	645	590	
環境保護活動参加人数 ^{※4}	名	80	87	63	

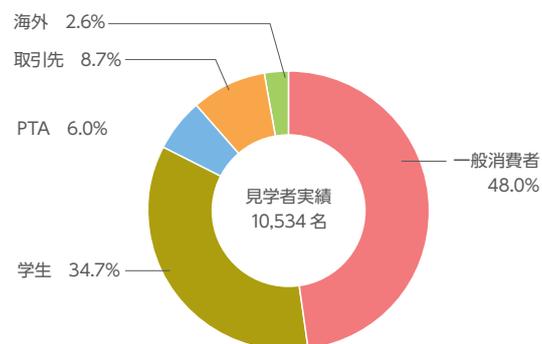
※1 国連WFP協会主催、子どもの飢餓撲滅のためのチャリティウォークイベント

※2 社員食堂でのチャリティ企画

※3 横浜磯子事業場周辺清掃、名古屋工場周辺清掃、堺工場周辺清掃、リフレッシュ水島港クリーン大作戦（水島工場）、攝津製油地域貢献清掃活動、クリーンウォーキング（大東カカオ(株)）等の合計参加人数

※4 海の浄化活動（横浜磯子事業場）、森の保護活動（横浜磯子事業場）、企業の森活動（名古屋工場）の合計参加人数

横浜磯子事業場の工場見学者数（2017年度）



環境

環境マネジメント

			単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
環境マネジメント委員会の開催状況			回	2	1	2	
環境マネジメントシステム認証取得社数 *認証等取得状況の詳細はP9をご覧ください。			社	4	4	5	対象：日清オイリオグループ（株）および連結子会社
環境監査／ 審査実績	内部環境 監査	改善指摘	件	4	4	2	対象： 生産4拠点 配送センター
		改善提案		44	25	20	
	定期審査 (外部)	改善指摘		0	0	0	
		改善提案		18	13	13	
環境関連資格 保有者数 (生産4拠点)	ボイラー技士		名	135	120	121	
	ボイラー整備士			18	16	14	
	ボイラー・タービン主任技術者			9	8	7	
	危険物取扱者			379	367	382	
	公害防止管理者 (水質)			31	32	24	
	公害防止管理者 (大気)			22	22	22	
	エネルギー管理士			23	20	22	
	環境計量士			1	0	1	
	産業廃棄物中間処理施設技術 管理者			3	1	1	
	ISO14001 内部監査員			246	219	221	
環境法令違反・指導			件	0	1	0	
環境に関するお問い合わせ			件	1	3	2	

資源・エネルギーの流れ

			単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考	
INPUT	原材料		万t	196	199	209		
	資材	ガラス	t	5,380	7,172	8,194	2016、2017年度はガラス容器商品の販売量が増えたため増加	
		プラスチック	t	9,934	9,888	10,432		
		金属類	t	10,098	10,810	10,691		
		紙類	t	11,023	10,893	10,887		
	エネルギー	電気（買電）		万kWh	7,009	7,075	7,388	
		都市ガス		万Nm ³	3,593	3,619	3,609	
		LNG		t	6,587	7,042	7,940	
		A重油		Kl	1,111	1,605	1,669	
		C重油		Kl	16,701	17,340	18,302	
水	上水・工業用水		万m ³	209	222	231		
	海水		万m ³	788	785	787		
OUTPUT	製品（食用油・油粕）		万t	194	196	204		
	排ガス	CO ₂	t-CO ₂	186,226	191,621	198,450	各年度、生産量（搾油処理量）が増えたためそれぞれ増加	
		NOx	t	133	153	162		
		SOx	t	25	26	31		
	最終埋立処分量		t	6	15	18		
	再資源化		t	19,325	19,371	20,033		
	排水		万m ³	285	307	354		

環境 (つづき)

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
化学物質排出量・ 移動量	対象物質数	—	5	5	5	
	排出量	t	932	1,062	892	
	移動量	t	32	52	55	

生産部門における環境負荷の状況

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考	
横浜磯子 事業場	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	82,589	84,142	83,963		
	産業廃棄物	t	6,237	6,468	5,936		
	最終埋立処分量	t	0	0	0		
	再資源化率	%	100.00	100.00	100.00		
	大気	NOx	t	71	72	74	
		SOx	t	6	6	7	
	水使用量	万m ³	114	117	132		
	排水	COD値	t	10	7	10	
		リン	t	0.5	0.6	0.9	
		窒素	t	4.7	4.3	7.1	
名古屋 工場	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	68,014	71,428	75,663	各年度、生産量（搾油処理 量）が増えたためそれぞれ 増加	
	産業廃棄物	t	2,384	2,784	3,036		
	最終埋立処分量	t	5	14	17		
	再資源化率	%	99.78	99.49	99.44		
	大気	NOx	t	54	73	79	
		SOx	t	19	20	24	
	水使用量	万m ³	50	60	61		
	排水	COD値	t	13	32	79	
		リン	t	0.6	0.8	0.9	
		窒素	t	2.9	3.3	4.0	
堺工場	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	9,146	8,928	9,349		
	産業廃棄物	t	7,520	7,073	7,275		
	最終埋立処分量	t	1	1	1		
	再資源化率	%	99.99	99.98	99.99		
	大気	NOx	t	3	3	3	
		SOx	t	0	0	0	
	水使用量	万m ³	10	9	10		
	排水	COD値	t	1	1	1	
		リン	t	0.0	0.0	0.0	
		窒素	t	0.2	0.2	0.2	
水島工場	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	26,477	27,122	29,475		
	産業廃棄物	t	3,190	3,062	3,804		
	最終埋立処分量	t	0	0	0		
	再資源化率	%	100.00	100.00	100.00		
	大気	NOx	t	5	5	6	
		SOx	t	0	0	0	
	水使用量	万m ³	35	36	36		
	排水	COD値	t	4	4	4	
		リン	t	0.2	0.2	0.2	
		窒素	t	0.6	0.6	0.6	

環境 (つづき)

低炭素社会実現への取り組み

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考	
生産部門での地球温暖化防止	使用エネルギー量と原単位の推移	使用エネルギー量(原油換算値)	kl	87,684	89,594	92,677	各年度、生産量が増えたためそれぞれ増加
		使用エネルギー原単位	kl/t	0.137	0.136	0.135	エネルギー原単位=使用エネルギー[原油換算](kl) / 油処理量(t)
	CO ₂ 排出量と原単位の推移	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	186,226	191,621	198,450	各年度、生産量が増えたためそれぞれ増加
		CO ₂ 排出量原単位	%	0.291	0.290	0.289	CO ₂ 排出量原単位=CO ₂ 排出量(t-CO ₂) / 油処理量(t)
物流部門での取り組み	物流におけるCO ₂ 排出量		t-CO ₂	20,749	21,870	22,590	
	油脂の輸配送に係るエネルギー使用削減率 ^{※1}		%	▲1.7%	▲0.4	0.2%増加	2010年度比、2017年度は拠点間輸送が増加したことなどにより、エネルギー使用原単位は増加
	モーダルシフト率 ^{※1}		%	35.0	35.1	33.7	
	物流異常発生率		ppm ^{※2}	52.1	48.8	61.7	目標70ppm以下
	共同配送 ^{※3} エリアカバー率		%	75	75	75	
オフィス部門での環境活動	オフィスの電気使用量の推移		kWh/m ²	1,456	1,260	1,137	
	コピー用紙の使用量の推移		t	23	18	17	中央研究所移転に伴い集計範囲を変更したため、2015、2016年度については遡及修正した数値を掲載
	紙ゴミの排出量の推移		t	87	61	50	中央研究所移転に伴い集計範囲を変更したため、2015、2016年度については遡及修正した数値を掲載

※1 対象：パッケージ品+バルク油（油粕や生産のための拠点間輸送は除く）

※2 ppm：百万分の発生率（百万ケースあたりの異常発生率）

※3 他食品メーカーとの荷主主導によるエリア共配が対象

資源循環社会実現への取り組み

		単位	2015 年度	2016 年度	2017 年度	備考
生産部門での取り組み	産業廃棄物量と最終埋立処分量	産業廃棄物量	t	19,331	19,387	20,051
		最終埋立処分量	t	6	15	18
	廃棄物再資源化		%	99.97	99.92	99.91

環境マネジメントシステム認証取得状況（グループ企業含む）

システム	認証取得年月	組織
ISO14001	2009年9月 (マルチサイト統合認証)	日清オイリオグループ(株) 横浜磯子事業場 名古屋工場 堺工場 水島工場 配送センター(小樽、東北石巻、福岡)
	2006年6月	攝津製油(株)
	2000年5月	Industrial Química Lasem, S.A.U.
エコアクション21	2014年1月	大東力カオ(株)中井工場
UTZ 認証	2017年6月	大東力カオ(株)

環境 (つづき)

『環境関連投資・費用・効果』

環境保全コスト

(百万円)

環境保全コスト分類		投資額		費用	
分類	主な取り組みの内容およびその効果	2016年度	2017年度	2016年度	2017年度
1. 事業エリア内コスト		258	54	706	686
① 公害防止コスト	大気汚染／水質汚濁／悪臭防止	245	41	311	306
② 地球環境保全コスト	温暖化防止／オゾン層破壊防止／省エネルギー	13	13	161	160
③ 資源循環コスト	産業廃棄物の減量化、削減、処理、処分／事業系一般廃棄物の減量化／削減、処理、処分	—	0	234	220
2. 上・下流コスト	容器・包装等のリサイクル・回収・再商品化／製品等の設計変更	—	0	196	193
3. 管理活動コスト	従業員への環境教育／ISO14001プロジェクト／環境対策の人件費	—	0	126	123
4. 研究開発コスト	環境保全に資する製品等の研究／開発に関わる人件費	—	0	109	107
5. 社会活動コスト	事業所内および周辺の緑化、美化、景観等の環境改善対策	—	6	4	5
6. 環境損傷対応コスト		—	0	—	0
合計		258	60	1,141	1,114

※集計の前提条件 ①集計値は各年度(4月～3月)の実績 ②費用分類は「環境会計ガイドライン(2005年度版)」に準拠 ③環境関連として確実な投資や費用(ほかの要素はほとんど含まず)の範囲に留めている

※投資額について、2016年度は技術開発センターの新設があったため、2017年度は減少

環境保全効果

▶エネルギー使用量低減効果 (生産系4工場集計)

	単位	2016年度	2017年度	増減	前年度比 (%)
電気 (買電分)	万kwh	7,075	7,388	313	104.4
A重油	kl	1,605	1,669	64	104.0
C重油	kl	17,340	18,302	962	105.5
LNG	t	7,042	7,940	898	112.7
都市ガス	10 ³ Nm ³	36,189	36,089	▲100	99.7
換算 CO ₂	t	191,621	198,450	6,829	103.6

※数値はすべて横浜磯子事業場、名古屋工場、堺工場、水島工場の合算値

▶廃棄物排出低減効果 (生産系4工場集計)

	単位	2016年度	2017年度	増減	前年度比 (%)
廃棄物等の排出 (最終埋立処分量)	t	15	18	3	120

※数値はすべて横浜磯子事業場、名古屋工場、堺工場、水島工場の合算値

※「廃棄物の排出」は、産業廃棄物および特管物の発生量より再生分を差し引き、最終的に埋立処分を行った数量

▶環境投資による経済的効果

環境保全対策にともなう経済効果		
費用節減	効果の内容	金額 (百万円)
	省エネルギーによるエネルギー費の節減	▲93

※数値はすべて横浜磯子事業場、名古屋工場、堺工場、水島工場の合算値

※「省エネルギーによるエネルギー費の節減」の金額は「エネルギー使用量低減効果」における各エネルギーの使用量削減に基づいた節減額(プラスの数値は節減、マイナスの数値は増加)

表彰一覧

2015年度

年	月	内容	対象	実施団体
2015	6	関東甲信越地域危険物安全協会連合会 会長 表彰	日清オイリオグループ(株) 横浜磯子事業場	関東甲信越地域危険物 安全協会連合会
2015	7	堺市食品衛生優良施設 表彰	攝津製油(株)油脂工場	堺市
2015	8	Singapore Food Safety	T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd.	AVA(シンガポール行政/ 農産物・畜産庁)
2015	9	地域安全活動への尽力と貢献に対する 感謝状	日清オイリオグループ(株) 横浜磯子事業場	神奈川県防犯協会連合会 神奈川県警察本部
2015	10	食品衛生優良施設 厚生労働大臣表彰	日清オイリオグループ(株) 名古屋工場、水島工場	厚生労働省 公益社団法人 日本食品衛生協会
2015	11	食品産業功労賞	今村隆郎	(株)日本食糧新聞社
2015	11	消防行政推進に関する感謝状	日清オイリオグループ(株)本社	東京消防庁 京橋消防署
2015	11	交通安全功労者 知事表彰	日清オイリオグループ(株) 横浜磯子事業場	神奈川県
2015	11	大阪府保健衛生関係功労者・ 優良施設 知事表彰	攝津製油(株)油脂工場	大阪府
2015	12	日経MJ広告賞 大賞 (中鎖脂肪酸関連広告)	日清オイリオグループ(株)	(株)日本経済新聞社
2016	2	食品ヒット大賞 ロングセラー賞	日清オイリオグループ(株) 「BOSCOオリーブオイル」	(株)日本食糧新聞社
2016	3	よこはまグッドバランス賞	(株)NSP	横浜市
2016	3	ユースエール認定企業	(株)NSP	厚生労働省

2016年度

年	月	内容	対象	実施団体
2016	4	ユースエール認定企業	(株)NSP	厚生労働省
2016	9	日食優秀食品 機械・資材・素材賞 資材部門	日清オイリオグループ(株) 食品機械用潤滑油「エステルラ®F」 シリーズ	(株)日本食糧新聞社
2016	9	日食優秀食品 機械・資材・素材賞 素材部門	攝津製油(株)「殺ノロウィルス組成物」	(株)日本食糧新聞社
2016	10	インターナショナルチョコレートアワード ワールドファイナル ブロンズ賞	大東カカオ(株) 「北海道リッチミルク41%」 「北海道ピュアホワイト」	Martin Christy他
2016	11	エコ&セーフティー 100日間無事故・無違反運動	日清オイリオグループ(株) 名古屋工場精製グループ	愛知県 安全運転管理協議会
2016	11	食品産業技術功労賞 商品・技術部門	日清オイリオグループ(株) 「日清ヘルシーオフ」	(株)食品産業新聞社
2017	1	平成28年度グリーン物流 パートナーシップ優良事業者	日清オイリオグループ(株)	国土交通省
2017	1	よこはまグッドバランス賞	(株)NSP	横浜市
2017	2	食品ヒット大賞 優秀ヒット賞	日清オイリオグループ(株) 「日清ヘルシーオフ」	(株)日本食糧新聞社
2017	3	宣伝会議賞 グランプリ	日清オイリオグループ(株)キャッチコピー 「子供が苦手なものは一度揚げてみる」 (コピーライター：平山瑞帆さん)	(株)宣伝会議

表彰一覧 (つづき)

2017年度

年	月	内容	対象	実施団体
2017	5	ユースエール継続認定	(株) NSP	厚生労働省
2017	7	磯子区消防操法技術訓練会 初期消火操法女性の部2位	日清オイリオグループ(株) 横浜磯子事業場 自衛消防隊	磯子火災予防協会
2017	7	Singapore Food Safety	T.&C. Manufacturing Co., Pte. Ltd..	AVA(シンガポール行政/ 農産物・畜産庁)
2017	7	感謝状	日清物流(株) 東北石巻配送センター	石巻港整備・ 利用促進期成同盟会
2017	10	日本食品微生物学会功労賞	攝津製油(株)	日本食品微生物学会
2017	10	インターナショナルチョコレートアワード ワールドファイナル ブロンズ賞	大東カカオ(株) 「黒糖ホワイト」	Martin Christy他
2017	12	横浜健康経営認証(クラスAA)	(株) NSP	横浜市
2018	1	よこはまグッドバランス(ブロンズ)賞	(株) NSP	横浜市
2018	1	本庄経済貢献企業表彰	もぎ豆腐店(株)	本庄商工会議所
2018	1	感謝状(人命救助)	日清オイリオグループ(株)従業員3名	名古屋市港消防署
2018	3	介護食品・スマイルケア食コンクール 舌でつづせる食品部門	日清オイリオグループ(株)「エネプリン」	(株)日本食糧新聞社
2018	4	Supplier Excellence Award 2017	Intercontinental Specialty Fats Sdn. Bhd.	Maestro Swiss Food Sdn. Bhd.

WEB掲載情報一覧

経営理念

<http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/philosophy.html>

コアプロミス

<http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/promise.html>

コーポレートステートメント

<http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/statement.html>

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス体制

<http://www.nisshin-oillio.com/inv/management/governance.html>

内部統制システムの状況

http://www.nisshin-oillio.com/inv/management/financial_governance.html

コンプライアンス

企業倫理体制

<http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/compliance.html>

日清オイリオグループ行動規範

<http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/model.html>

リスクマネジメント

基本方針、リスクマネジメント体制

http://www.nisshin-oillio.com/company/oillio/risk_management.html

事業等のリスク

<http://www.nisshin-oillio.com/inv/management/risk.html>

防災への取り組み

<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/prevention.html>

CSR推進体制

<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/ours.html>

品質方針、品質保証体制、品質・食品安全マネジメントシステム認証等取得状況

<http://www.nisshin-oillio.com/company/safe/quality.html>

品質・安全への取り組み、トレーサビリティ（追跡可能性）の確立

<http://www.nisshin-oillio.com/company/safe/iso.html>

日清オイリオグループ調達基本方針、パーム油調達方針

http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/procurement_policy.html

株式・株主情報

http://www.nisshin-oillio.com/inv/stock_info/index.html

人事諸制度、能力開発体系

<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/employee.html>

社会貢献方針

<http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/together.html>

環境理念・環境方針

http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/env_plan.html

環境マネジメント推進体制、環境マネジメントシステム認証取得状況

http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/env_management.html

中期環境目標

http://www.nisshin-oillio.com/company/csr/env_target.html